

あいちの社会教育委員ハンドブック（概要）

本冊子の位置づけ

- 各市町村で活動する社会教育委員に向けて、活動にあたって心がける内容を簡潔に記載
- 第1章は、新しく社会教育委員になった方向けの内容として、社会教育委員の基本的な役割を説明
- 第2章は、社会教育委員として経験年数を積んだ方向けの内容として、これからの生涯学習・社会教育の役割を社会教育委員との関わりの中で説明

第1章 社会教育委員の役割

☆ 社会教育委員とは

- ① 自分のまちの社会教育の実情を知り、地域住民と行政との間に立って、住民の声を行政に反映するという大切な立場です。
- ② 社会教育に関する計画の立案や研究調査などによって、社会教育に関して教育委員会に助言をする役割を果たしています。
- ③ 社会教育委員の会議に出席し、意見を述べます。

☆ 社会教育委員の職務

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案する。
- (2) 教育委員会に答申・意見を述べる。
- (3) 必要な研究調査を行う。
- (4) 青少年教育に関する助言・指導を行う。

☆ 自分の経験を生かす

社会教育委員は、それぞれの得意分野を生かして、日頃の活動から聞き取った住民の声を行政に届けていくことが大切である。

☆ これからの社会教育委員に期待される役割

- ① 「行動する社会教育委員」の役割
自ら地域の課題や学習ニーズを把握したり、地域を活性化したりするために行動する。
- ② 「実践活動重視」の役割
自分たちが立案した諸計画を実際に自ら実践する、実践をしかける主体。地域住民・実践者に寄り添いながら「伴奏・伴走」する。
- ③ 「ファシリテーター」としての役割
多様な地域の課題解決のために、防災や保健等の関係各課、民生委員等とのつながりや連携を深める。

第2章 これからの生涯学習・社会教育の役割 ～社会教育委員としての向き合い方を考える～

☆ 「あいち学び未来応援プラン2027」（第3期愛知県生涯学習推進計画）

【基本理念】

「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」の実現

【基本理念を実現するための3本の柱】の内容に当てはめて社会教育委員の役割を説明

第1の柱：自己を高め、豊かに生きる生涯学習

「人生100年時代」における生涯学習の在り方に対して、ウェルビーイングの概念をとおして社会教育委員の役割を考える。

第2の柱：人をつなぎ、地域をつくる生涯学習

「誰一人として取り残すことのない社会的包摂の実現」とそれを支える「地域コミュニティの構築」における、社会教育委員の役割を考える。

第3の柱：未来を築く生涯学習

「命を守る」生涯学習・社会教育の在り方と、社会教育関連施設に関わる社会教育委員の役割を考える。

☆ 「社会教育委員としてできることは何か」を考える

本ハンドブックでは、地域社会をよりよくしようと尽力している愛知県内の社会教育委員の手記を掲載しています。